**第１２回市民自治推進委員会　まちづくり部会議事録**

（敬称略）

◆開催日時：平成２９年１１月２７日（月）　１８：３０～

◆開催場所：市役所２階　第２委員会室

◆出席部会員：部会長　　中原　義勝

副部会長　渡部　雅子

部会員　　山田　正幸

川島　雅司

成田　育磨

松田　　毅（協働推進庁内委員会部会長）

【市民生活部次長】

　　　　　　　　　　　　 笠井　康之（協働推進庁内委員会副部会長）

【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

◆欠席部会員：部会員　　田中　寛志

　　　　　　　　　　　　稲葉　一彦

　　　　　　　　　　　　工藤　隆行

　　　　　　　　　　　　松本　崇之

◆事　務　局：　　　　　笠井　康之（庁内委員会兼）

【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

伊藤慶一郎【市民生活部市民協働グループ主査】

◆議　　　題：今後のまちづくり部会の方向性について

**≪事務局≫**

１０月２４日に開催されました、第５回部会長・副部会長会議の概要を説明した後、部会長に引き継ぎたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

部会長・副部会長会議で情報提供した資料をお手元に配布しております。

まずは、Ａ３横版の資料をご覧ください。

この資料は、前回の部会長・副部会長会議で配布したものをベースとし、“現在の取組内容”欄を最新の状況に更新しているのと、各部会の中で協議し、平成３０年度の取組に必要な予算として要求している内容を“取組に係る必要予算”欄に記載しております。

会議では、まずは各部会の「健康」に関する取組の進捗状況の確認及び情報共有を図りました。

併せて、一部の市民自治推進委員をはじめ、その他色々な方面から、「健康に関する取組は、今後どうしていくのか」ですとか、「続けるのか、やめるのか、又は違う新しいテーマを設けるのか」などといったご意見を聞くようになり、まずは部会長・副部会長会議で一度、「健康」というテーマの方向性の確認を行い、各部会等で協議していただくということで、一番右の“今後の方針・予定”欄を空欄としております。

　「健康」に関する取組は、例えば料理教室や健康座談会など、既に取組を実施している部会もあれば、ウオーキングマップ更新後に取組を検討している部会もあるなど、進捗状況は各部会でまちまちであることから、現段階では「健康」に関するテーマについて、統一したゴールは定めず、各部会、必要な取組は継続しつつ、登別市まちづくり基本条例で定める、市民自治の推進や市民と市の協働のあり方、また、市の進める事務・事業等について協議していくこととしました。

また、市の企画調整グループから、第３期基本計画・第１次実施計画における進捗状況について、文書にて報告と意見照会があったことを受け、まずは部会長・副部会長会議で内容等について直接説明してもらい、必要に応じて各部会においても説明をして欲しい、といった要望もありました。

次に、ホッチキス止めされている、「広報８月号」と書いてある資料ですが、これまでの部会長・副部会長会議でも、市民自治推進委員会の取組を市民に知ってもらうため、年に１度くらいは広報紙で周知した方が良いのでは、という意見があったことから、広報８月号に掲載したものを参考にお配りいたします。

続きまして、両面刷りの新聞記事をご覧ください。

１０月１３日付けの記事では、市民自治推進委員会の活動に関する説明、裏面の記事では、まちづくり部会が取り組む健康座談会について紹介されましたので、のち程ご覧いただければと思います。

最後に、Ａ３縦版の記事、受動喫煙の防止関連についてであります。

道の受動喫煙防止条例の動きに合わせ、登別でも受動喫煙防止を進めていく必要があり、市民自治推進委員会においても逐次、情報提供していくこととしておりました。

この記事は、北海道がん対策「六位一体」協議会が、北海道がんサミットでまとめた要望を北海道や札幌市等に手渡し、施策で実現するよう要望する、という内容のもので、１１項目に渡る要望内容となっております。

こちらについても、のち程、ご覧いただければと思います。

事務局からの説明は以上になりますが、部会長、副委員長も出席されていましたので、補足等があればお願いします。

　本日は、まずはロコモの関係を含めた、まちづくり部会の、今後の方向性についてご協議いただきたいと思います。

それでは部会長、よろしくお願いします。

**≪部会長≫**

まちづくり部会に保健福祉部職員にも参加していただき、結果的に今月開催した健康座談会を見に来ていただいたということで、どういう印象を持って帰られたかはわかりませんけれども。

実際に見てもらった感想とか、どうですか。

**≪部会員≫**

話がうまいですね、と言われました。

**≪部会長≫**

まちづくり部会としては、１２月いっぱいまで登別・幌別・鷲別の３カ所でやる予定で、それ以降については今のところ何も決まっていない状態ですね。

**≪部会員≫**

結局、「健康」って何だろうと考えたときに、自分の聞きたいことを聞けたり、今回の健康座談会のように、定期的に通えて何か相談できる環境が登別にもあったら良いのになって思います。

そのためには国家資格が必要だって言われるとそれまでなんですけど、でも体操を教える場合には国家資格所持者というわけではないでしょうし、体操に来たって結局は体操のこと以外にも、例えばインフルエンザのことだって話すこともあるでしょうし。

でも、そういった環境を来年度に整備することは無理だと思いますし、まちづくり部会で継続していくのも違うと思うので、やっぱり一旦区切りましょう。

**≪部会長≫**

　仕方ないですね。

元々、今日お集まりいただいたのは、まちづくり部会が今後、具体的にどういったことをテーマにして進んでいこうかという方向性だけは明確にして来年からやっていければと思っているんですけれども、何か取り組みたいこととかありませんか。

**≪副部会長≫**

　市の第３期基本計画等の資料を一通り見ましたが、若い人達がこのまちに定着するという視点はすごく大事なことだと思ってて、その中で登別温泉の移住計画においてお試しで１泊、というような事業をやっているかと思うんですけど、その後の定着状況ってどうなんでしょうかね。

　その取組を広げて、定着していければ若年層も移住してくるでしょうし、そうなれば税収増だって見込めるじゃないですか。

**≪部会員≫**

　年配の方しか応募してきていないって聞いたことがあります。

**≪部会員≫**

　「ちょっと暮らし」という取組ですね。

　広報紙か何かで見たんですけど、狙いは退職者なんですか。

**≪庁内委員≫**

　はい、若い方を対象としているわけではないですね。

**≪部会員≫**

　なのでそれを変えて、若い人の為にお金を使おうってことですよ。

**≪副部会長≫**

　若い人をターゲットにするにしても、その後の、働き場所の問題もあるんですよね。

**≪部会員≫**

　そう、ですので、高齢者の支援などもあるでしょうけど、一番大事なのは人口減への対策だと思いますよ。

他の市町村の退職した高齢者を登別に定住させようとしたところで、年間１人や２人いるかいないかでしょうし、何より登別は観光都市ですけど、温泉があるだけでは生活していく上で、そこまで魅力に感じないですよね、正直なところ。

だったら若い人が子どもをいっぱい産めるような政策をする方が、よっぽど人口減対策になると思うんですよ、例えば２人目産まれればいくら、３人目産まれればいくら支給します、というように。

だから国がやっている無償化の動きみたいに、子育てをする若い世代に魅力があるようなことを政策としてやって、そういうことに予算をつけていく方が効果はあると思うんですよ。

**≪部会員≫**

　他の自治体でも、そういう面に手厚いところはありますよね、子どもの保育料無償化とか。

逆に、登別市から出ていく人がどれくらいいるかはわかりませんが、そのような人達を引き留めながらニーズを聞いて、登別に移住したくなるような仕組み作りにつなげていくことも必要かと思います。

**≪副部会長≫**

　ただお金を掛ければ良いという訳でもなくて、北海道のどこの自治体かは忘れましたけど、２人保育所に預けたら２人目からは無料、というようにやっているところもありますので、全てを整えなくとも、登別市はこの政策が目玉だよ、といったものを作っていかなければいけないんでしょうね。

**≪庁内委員≫**

　そのためには、やはり働く場所が必要ですね。

**≪部会員≫**

　登別温泉とか、働く場所はあると思うんですけど、働き手って少ないんですか。

**≪副部会長≫**

　待遇面とかもあるのではないですかね、大変だって聞きますし。

**≪部会員≫**

そこを改善するよう働きかけていけばいいじゃないですか。

**≪庁内委員≫**

　それについては昔からの課題で、温泉ホテルはチェックアウト・チェックイン時が込み合い、昼は割と手が空くため、変則勤務になるんです。

**≪部会員≫**

　不規則な生活リズムであることを理由に、半年くらいで辞めてしまう人もいると聞きました。

地獄まつりの鬼踊りの際も、団体の中で固まってしまっている気がするので、その辺りから交流の仕組みが作られればいいんですけど。

**≪庁内委員≫**

　事業費の面では、市もお金が無いということは事実なので、何か新しいことをするのであれば、何かをスクラップするということが必要かなと思います。

**≪部会員≫**

　社会福祉協議会の研修会で挨拶した時に、サロン活動をしている人達と話したことなんですが、日本の平均寿命が延びていて、女性だったらもう少しで９０歳までいきそうですよね。

多くの人は６５歳で第一線を退いてその後の生活に入り、それ以降の生活は当然ながら個人個人でバラバラになるわけですが、例えば６５歳から７５歳までの方々が有償ボランティアという形で幾分の収入を得て、地域のボランティア活動に取り組み、７５歳から８５歳までの方々については自分の趣味を生かしながら地域に貢献できる仕組みを作るとか。

登別でそういうような仕組みがあれば、老後のことも考えて登別に住もうという人が増えるんじゃないかと思うんですよ。

**≪部会員≫**

　事業をスクラップして、今言ったような環境を整える予算がつけば良いですね。

**≪副部会長≫**

　次回までに、特徴ある他の市町村の取組なんか、色々調べてきましょうか。

**≪部会長≫**

　良い情報があれば持ち寄って協議しましょう。

【次回会議】

　●日程：未定

●内容：第３期基本計画・実施計画を基に、まちづくり部会の取組の方向性を協議する。